

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	廣坂 樹	学年(渡航時)	4年
派遣先大学	パリ東＝クレティユ大学		
国・地域	フランス		
派遣期間	2026年1月～2026年5月		

履修科目

1学期目	
履修科目	授業内容
Global Brand Management	グローバルに展開する企業を例に、ブランドの構築や戦略に関する知識を学ぶ
Doing Business Abroad	異文化間でビジネスをする際の文化の違いやマナー、効果的なプレゼンテーション方法を学ぶ
Competitive Intelligence	競合他社の情報を収集・分析し、ビジネスで優位性を築くための戦略的・戦術的な意思決定手法を学ぶ。
French A1 (language)	フランス語の基礎を学ぶ

留学レポート(1,500字以上)

フランスでの留学生活を通じて、多くの人に出会い、文化や考え方の違いを実感した。また感情が様々に変化する中で、大きく自分自身が成長できた時間だった。

留学前に最も心配だったことは、英語での授業についていけるかということだった。クレティユ大学の授業では、ほとんどすべてのクラスが20名前後の少人数制のクラスで行われていた。先生と生徒の距離が近く、授業は相互の会話形式で進んだ。また毎回のクラスでグループワークが課せられ、プレゼンテーションやレポート、グループディスカッションなど様々だった。授業開始当初は、慣れない形式での授業に非常に戸惑った。英語への自信のなさから授業に積極的に参加することができず、自分の不甲斐なさに落ち込んでいた。しかし、多くの先生方が「英語が上手か下手かは気にしないでいいから、自分の意見を伝えることが大事だよ」といってくださり、次第に授業内で発言することに怖さがなくなった。またグループワークでは、優しいクラスメイトに恵まれ、分からないことやできないことはみんなで助け合う環境だったので、居心地がよかった。またクラスメイトと話す機会も多かったので、友達作りにもピッタリな環境だったと思う。

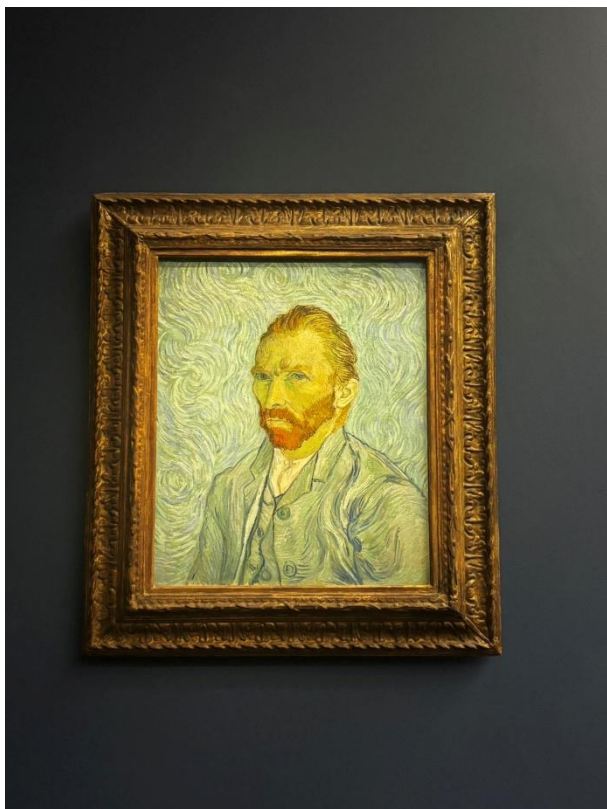
大学には、寮(大学内にあるマンション)があるが、空き部屋が少なく、入寮には2学期留学の学生が優先されるため、寮に入ることが難しいと言われている。そのため寮の申し込みをしつつ、結果が出るまで自分でも家を探すのがいいと思う。私は運よく、友人の紹介で家を見つけることができたので、大学から徒歩5分ほどのマンションでフラットシェアをしていた。クレティユは、パリ郊外の小さな町だが、自然もあり、落ち着いた雰囲気がある。治安もそれほど悪くなかった。私は60代の現地のフランス人のおじいちゃん2人と20代のブラジル人1人という不思議なメンバーでルームシェアをしていた。フランス人おじいちゃんがフランスの伝統的なお菓子を紹介してくれたり、パリでおいしいレストランに連れていってくれたり、とフランスの食や文化、歴史をたくさん教えてくれたおかげで、深くまでフランスという国を知ることができた。時間があるときは一緒に池の周りを散歩したり、買い物に行ったのもいい思い出。常に家に誰かがいたので、寂しくなることもなく、悩みや心配事もなんでも相談できる非常に有意義な時間だった。

クレティユはパリ郊外に位置しているが、パリには電車で30～40分ほどで行くことができる。友達と遊ぶときはほとんどパリに行っていた。初めてパリに遊びに行った時、写真で見ていた風景をはるかに上回るほど、街並みが本当に美しく、豪華で、統一された建物に感動したのを今でも覚えている。パリにはアジアンスーパーや日本食専門のスーパーもあり、調味料や日本のお菓子などもたくさんあった。また美術館や凱旋門、ヴェルサイユ宮殿な

どの観光名所は、学生証を持っていると無料で入ることができる。事前に予約しなければいけないところもあったが、フランスの色々な場所を訪れることができた。外食は基本高いが、Bouillon(大衆レストラン)は値段も優しく、フレンチを手軽に楽しむことができる。安い店では、前菜・メイン・デザートを 16 ユーロで食べることができる。外食をするときは基本、Bouillon へ行っていた。

自分の英語力に自信をつけるために、決めた交換留学。留学当初は日本人が誰もいない環境に不安を覚えたり、初めて学ぶビジネスの授業に戸惑ったり、自分の英語が全然通用しない現実に落ち込んだりと、楽しい気持ち以上に多くのマイナスな感情を抱いた。しかし、何度も失敗をする中で、英語力が向上しただけでなく、英語を通じて世界の様々な人と繋がれることに喜びを感じることもできた。私が帰国する前、色々な人から「みきの英語、上手になったね」と言ってもらえる機会があり、本当に嬉しかったし、自分自身の成長を実感することができた。この留学の中で得た「失敗を恐れず、前に進む力」を、これからの人生でも活かし、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思う。

留学中の写真(10枚程度) ※写真のキャプションをファイル名にすること。



ゴッホも見れました



モンマルトルでお昼ご飯を食べたときの1枚



ヨーロッパでもたくさん桜を見れました



公園でピクニックも



よく行った Bouillon



凱旋門前でパシャリ



現地学生とプロジェクトで来た日本人学生の観光案内をしました。通訳を初めて経験！



友人がオープンサンドを作ってくれました！激ハマリ